

ピアノ弱音装置ナイトーン 待望のグランド用に好反響

ピアノ調律のTAGAMI-PIANO TUNE (田上忠之代表)では、アップライトピアノの体感音量を約十分の一に抑える弱音装置「NightTone」(ナイトーン、作業費込み六万円/税別)を二〇〇九年に開発。これまでに全国約四百台のアップライトピアノに取付を行ってきたが、待望のグランドピアノ用「NightTone GP」(作業費込み二十八万円/税別)が先頃完成。八月より受注開始したところ早くも多数のオーダーがあり、取付まで数か月待ちと高い反響を呼んでいる。

ナイトーンは、ピアノのハンマーと弦の間に独自開発の多層構造フェルトを設置し、ハンマーが弦に当たる強さを抑えることで、小さく繊細な響きを実現。電子部品を全く使わないのでアコースティックそのままの音色を楽しむことができ、ピアノを傷つけずに取付けられるなど、調律師ならではの設計理念で静かな支持を集めているようだ。

ナイトーンGPではさらに、弱音モードへの切替と連動してレットオフ(ハンマー接近)とドロップの設定が同時に切替わるタッチ可変システム(国際特許

出願済)により、本来のアクションの設定が完全に維持される。通常演奏でも弱音演奏でも同じように、グランドピアノ本来の自然なタッチで思いのままの表現が行えるとあって奏者や指導者、ピアノ技術者の評価も高い。ナイトーンを取付はUP/G Pとも完全オーダーメイドで、殆どの国産/輸入ピアノに対応可能。現在は東京の同社と大阪の提携業者を中心に認定技術者による取付作業が常時行われているほか、取扱店も全国●●●件に上る。ヨーロッパピアノのユーザーや販売業者からも引き合いが多いとのこと、さらなる普及に期待がかかる。(森)



写真上はUP用多層フェルトのサンプル/ネットのデモ動画を見た人からの問い合わせも増えているが、やはり実機で試弾してこそ真価が伝わると強調する田上代表。後ろのグランドはナイトーンGP取付済み